

科目名	現代文B	単位数	2	必修選択	必修
教科書	高等学校 改訂版 現代文B(第一学習社)				
副教材	トータルサポート 新国語便覧(大修館書店)、常用漢字ダブルクリア(尚文出版) 読解現代文必携 キーワードの卵(尚文出版)、よむナビ現代文2(いいずな書店)				

教科・科目の内容

近代以降の様々な文章の読解を通して、文章を的確に理解する能力、適切に表現する能力を高めることをねらいとします。その上で思考力や想像力、認識力を伸ばし、感性や情緒を育み、世界を豊かに認識していこうとする態度を身に付けていきます。

日常生活や将来とのつながり

人は言葉がないと考えることはできないとよく言われます。

言葉がなければ自分の思いを相手に伝えることも十分にはできません。たとえ、どんなに深い思いがあったとしても、言葉なしには伝える術が足りません。

桜の花が刹那に散りゆくわびしさや切なさ、また、そこから生まれる美しさについて書かれた文章を読んで以来、自分の中の桜を見る思いが変わったという人がいます。言葉、表現、視点を知ること、世界の見え方は変わります。豊かな世界が開けてきます。

国語を勉強することの意味というのは、そして楽しさも、きっとそこにあるのです。

この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

- ・とことんまで自分自身で考えること。
- ・こまめに辞書を引き、語彙を増やす努力をすること。
- ・漢字小テストで毎回満点が取れるように勉強すること。
- ・予習復習として本文を音読すること。

到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

評価の観点(評価方法)

- ① 関心・意欲・態度(行動観察・ノート点検・課題提出)

国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。
- ② 話す・聞く能力(行動観察)

目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。
- ③ 書く能力(行動観察・提出物)

必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。
- ④ 読む能力(行動観察・定期試験・提出物)

近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
- ⑤ 知識・理解(小テスト・定期試験・提出物)

言語文化及び言葉の特徴や決まりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。

指導学年	科目名	単位数	教科書名(出版社)	副教材名
2年	現代文B	2	高等学校 改訂版 現代文B (第一学習社)	トータルサポート 新国語便覧(大修館書店)、 常用漢字ダブルクリア(尚文出版) 読解現代文必携 キーワードの卵(尚文出版)、 よむナビ現代文2(いっずな書店)

学期	学習内容	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価の観点				
			関	話	書	読	知
一 学 期	評論(近代・時間論) 『自明性の畏』からの解放 見田宗介	<ul style="list-style-type: none"> 論の構成や展開、構造を意識して読み取る。 「近代」とその時間感覚についての知識を持ち、理解を深める。 「自明性の畏」について、自らに置き換えてみる。 	○	○		○	○
	評論(自我・アイデンティティ) 「自他の『間合い』」 鷺田清一	<ul style="list-style-type: none"> アイデンティティの確立における他者の重要性を理解する。 筆者の言う「間合い」について、その重要性を理解する。 本文の趣旨を理解し、要約文や意見文を書く。 	○		○	○	○
	※ 中間試験					○	○
	評論(コミュニケーション・情報) 『集合知』という考え方 西垣通 小説 「山月記」中島敦	<ul style="list-style-type: none"> 論の構成や展開、構造を意識して読み取る。 筆者の合意形成に対する考えを理解し、自らの学習に活かす。 コンピュータと人間との関わりについて考え、意見文を書く。 小説に描かれた情景、人物、心情を読み味わう。 李徴の告白から、そこで語られた李徴の内面を正しく読み取る。 作品の主題について話し合ったり、文章にまとめたりする。 	○		○	○	○
※ 期末試験					○	○	
	詩 「わたしが一番きれいだったとき」 茨木のり子	<ul style="list-style-type: none"> 詩の鑑賞のしかたを習得する。 繰り返しの表現に込められた作者の心情について考える。 	○			○	○
二 学 期	評論(文明論・環境) 「存在としての建築」 隈研吾	<ul style="list-style-type: none"> 本文を読んで、文明と環境との関わりについて理解を深める。 筆者の論を参考に、「人間の本当の豊かさ」について話し合う。 	○	○		○	○
	評論(芸術論) 「手の変幻」 清岡卓行	<ul style="list-style-type: none"> 着眼の鋭さや具体から抽象へと深まる論の展開を読み味わう。 筆者の論を参考に、「手の持つ意味や「芸術」のあり方について考え、文章にまとめる。 	○		○	○	○
	※ 中間試験					○	○
	評論(科学論・機械論) 「動的平衡」 福岡伸一	<ul style="list-style-type: none"> 人間の生命における「動的平衡」とはどうか、理解する。 現在の分子生物学で主流とされる考えと筆者の考えとを比較し、文章などにまとめる。 	○		○	○	○
	小説 「こころ」 夏目漱石	<ul style="list-style-type: none"> 「私」の告白を読み、語られた出来事と心情を正しく読み取る。 Kが自殺を図るまでの過程を把握し、話し合ったり文章にまとめたりする。 「明治の精神」について理解し、自らの生き方と照らして考える。 	○	○	○	○	○
※ 期末試験					○	○	
	詩 「永訣の朝」 宮沢賢治	<ul style="list-style-type: none"> 詩にこめられた作者の思いについて理解を深める。 宮沢賢治の作品や生き方について話し合う。 	○	○		○	○
三 学 期	小説 「葉桜と魔笛」 太宰治	<ul style="list-style-type: none"> 小説の語りのリズムや表現の工夫について読み味わう。 「口笛」の主は誰だと考えられるか、意見を語り合う。 「回想」で書かれていることの効果を考え、文章にまとめる。 	○	○	○	○	○
	評論(文化論・グローバル化) 『グローバル化』の中の異文化理解 住原則也	<ul style="list-style-type: none"> グローバル化の持つ「個別化」という側面を理解する。 グローバル化の「二つの側面」を理解し、異文化理解について話し合う。 	○	○		○	○
	※ 学年末試験					○	○

備考	授業の様子で、進度を調整したり、教材を入れ替えたりすることがあります。
----	-------------------------------------